

様式第15号の2(第2条関係)(用紙 日本工業規格A4縦型)

地域医療支援病院業務報告書

富 地 医 第 4 号

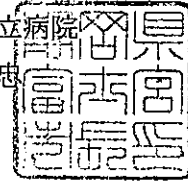
平成25年10月 4日

静岡県知事 川勝 平太 様

住所(所在地) 静岡県富士宮市錦町3番1号

名称 富士宮市立病院

代表者の氏名 須藤 秀忠



平成24年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称 富士宮市立病院
- 2 開設の場所 富士宮市錦町3番1号
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院紹介率	67.5%	算定期間	平成24年4月1日 ～平成25年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	40.2%		
算定根拠	A : 紹介患者の数		7,068人
	B : 救急入院初診患者の数		1,179人
	C : 初診患者の数		13,732人
	D : 休日夜間救急初診患者の数		1,520人
他の病院又は診療所に紹介した患者の数			4,904人

(注1) 「地域医療支援病院紹介率」欄は、A、Bの和を、(C-D)で除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること

(注2) 地域医療支援病院紹介率が60%以上80%未満の病院にあつては、承認後2年間で地域医療支援病院紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を併せて提出すること

(注3) 他の病院又は診療所に紹介した患者の数については、括弧内に、「A: 紹介患者の数」のうち、他の病院又は診療所に紹介した患者の数を併せて記入すること

## 平成24年度紹介率（地域医療支援病院の算定による試算）

●承認条件（医療法第4条関係）

- ① 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し、医療を提供する地域医療支援病院紹介率が80%以上であること。
- ② 地域医療支援病院紹介率が60%を上回り、かつ、逆紹介率が30%を上回ること。
- ③ 地域医療支援病院紹介率が40%を上回り、かつ、逆紹介率が60%を上回ること。

紹介率 = (紹介患者の数 + 救急入院初診患者数) ÷ [初診患者の数 - 休日・夜間受診の救急初診患者の数(救急入院初診患者を除く)]

紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介患者の数 A	542	575	669	634	637	520	676	579	542	571	528	595	7,068
救急入院初診患者数 B	83	95	101	112	112	95	94	115	113	116	79	81	1,179
計A+B C	625	670	764	735	749	615	770	694	655	687	607	676	8,247
初診患者の数 D	1,078	1,169	1,201	1,266	1,338	1,021	1,242	1,147	1,020	1,104	1,030	1,116	13,732
休日・夜間受診の救急初診患者の数 E	133	125	105	138	152	110	117	125	132	150	108	125	1,520
初診計D-E F	945	1,044	1,096	1,128	1,186	911	1,125	1,022	888	954	922	991	12,212
紹介率 % C/F	66.1%	64.2%	69.7%	65.2%	63.2%	67.5%	68.4%	67.9%	73.8%	72.0%	65.8%	68.2%	67.5%

逆紹介率 = 逆紹介患者の数 ÷ [初診患者の数 - 休日・夜間受診の救急初診患者の数(救急入院初診患者を除く)]

逆紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
逆紹介患者数 G	396	384	390	387	369	348	426	376	370	413	381	452	4,692
地域連携診療計画管理料算定 H	23	12	21	20	15	21	20	14	16	22	17	11	212
計G+H I	419	396	411	407	384	369	446	390	386	435	398	463	4,904
初診患者の数 F	945	1,044	1,096	1,128	1,186	911	1,125	1,022	888	954	922	991	12,212
逆紹介率 % I/F	44.3%	37.9%	37.5%	36.1%	32.4%	40.5%	39.6%	38.2%	43.5%	45.6%	43.2%	46.7%	40.2%

#### 4 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）の実態

##### (1) 共同利用の実績

開業医・他病院より高度医療機器等の依頼件数	
平成24年4月1日～平成25年3月31日	858件
※上記件数は開設者と直接関係ない医療機関の数である。	

病床利用率	
平成24年4月1日～平成25年3月31日	79.5%

##### (2) 共同利用の範囲等

放射線科 全身用マルチスライスCT（64列CT） 磁気共鳴断層撮影装置（MRI） 核医学検査装置（RI）
内視鏡検査装置
共同利用病床（10床）
図書室

##### (3) 登録医療機関の名簿

別紙のとおり(4-1)
-------------

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

平成24年度高度医療機器の共同利用

予約種別	件数
CT	327
MR I	252
R I	17
エコー	6
骨盤計測	183
内視鏡	15
その他	58
総計	858

## 平成24年度病床利用率

年月	病床利用率(四捨五入)
平成24年4月	83.8%
平成24年5月	78.2%
平成24年6月	81.1%
平成24年7月	81.4%
平成24年8月	83.5%
平成24年9月	76.0%
平成24年10月	77.6%
平成24年11月	79.5%
平成24年12月	74.7%
平成25年1月	80.4%
平成25年2月	81.6%
平成25年3月	76.2%
年間	79.5%

※病床利用率

= (在院患者数 + 退院患者数) ÷ 延病床数 × 100

NO	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	青木クリニック	青木 秀夫	富士宮市内房3215-5	内科	無
2	朝霧高原診療所	山本 竜隆	富士宮市猪之頭1772-2	内科	無
3	あしざわ医院	芦澤 厚志	富士宮市弓沢町133	循環器科・内科	無
4	阿南胃腸科外科	阿南 晃	富士宮市小泉2145-7	胃腸科・外科	無
5	安藤眼科医院	安藤 俊美	富士宮市神田川町5-11	眼科	無
6	池田医院	池田雅一	富士宮市淀師1455	耳鼻咽喉科	無
7	池田クリニック	池田 祐司	富士宮市下条148-1	内科・胃腸科	無
8	池谷皮膚科医院	池谷 精司	富士宮市中央町4-11	皮膚科	無
9	いしかわ皮膚科	石川 高康	富士宮市北町6-21	皮膚科	無
10	市川胃腸科皮膚科医院	市川 靖一	富士宮市光町13-12	胃腸科・皮膚科	無
11	浦野内科クリニック	浦野 芳治	富士宮市中原町218	内科	無
12	おいかわクリニック	及川 博	富士宮市小泉1975-19	消化器内科・内視鏡内科・肛門外科・外科	無
13	大木医院	大木 繁	富士宮市宮町3-3	内科	無
14	大宮望月クリニック	望月 孝典	富士宮市大宮町18-22	内科・消化器内科	無
15	岡村医院	岡村 文夫	富士宮市淀平町369-1	内科	無
16	小田都産婦人科医院	小田部 淳	富士宮市ひばりが丘166	産婦人科	無
17	片桐整形外科	片桐 歌	富士宮市西町26-9	整形外科	無
18	加藤脳神経外科	加藤 康雄	富士宮市三園平668-2	脳神経外科	無
19	北川内科医院	北川 安男	富士宮市光町10-15	内科	無
20	北山医院	高橋 敏信	富士宮市北山2695-2	胃腸科・外科	無
21	協愛医院	佐野 眞一	富士宮市宮町8-7	耳鼻咽喉科	無
22	小久保皮膚科・泌尿器科医院	小久保 一也	富士宮市黄船町8-22	皮膚科・泌尿器科	無
23	後藤外科医院	後藤 慎介	富士宮市東町9-1	外科	無
24	さいとう眼科医院	齋藤 憲	富士宮市西小泉30-3	眼科	無
25	桜田医院	桜田 勝美	富士宮市大久保14-1	内科・小児科・麻酔科	無
26	指出泌尿器科	指出 昌秀	富士宮市朝日町9-5	泌尿器科・人工透析	無
27	さとうクリニック	佐藤 顕彦	富士宮市中央町12-3	脳神経外科	無
28	佐藤内科医院	佐藤周三	富士宮市羽嶺583	内科	無
29	佐野医院	佐野 弥文次	富士宮市小泉2186-5	内科	無
30	佐野記念クリニック	薫木 倫彦	富士宮市宮町13-30	内科・外科	無
31	佐野内科クリニック	佐野 聡	富士宮市田中町185-6	内科・消化器科・呼吸器科・リウマチ科・小児科	無
32	シモタクリニック	霜多 広	富士宮市前田町137-5	呼吸器外科・乳腺外科・外科・内科	無
33	関医院	関 泰	富士宮市万野原新田3107-1	外科・消化器科・内科	無
34	竹川医院	竹川 康	富士宮市上井出106	小児科・内科	無
35	田中医院	田中 洋介	富士宮市舞々木町711-2	内科・胃腸科・外科・肛門科	無
36	谷口小児科医院	谷口 和夫	富士宮市小泉1115-5	小児科	無
37	谷口内科クリニック	谷口 幹太	富士宮市矢立町910-4	内科・糖尿病内科	無
38	天神眼科医院	天神 光充	富士宮市若の宮町335	眼科	無
39	天神産婦人科医院	天神 弘尊	富士宮市若の宮町398	産婦人科	無
40	天神整形外科医院	天神 宏純	富士宮市若の宮町398	整形外科	無
41	東静岡神経センター	土居 一丞	富士宮市西小泉14-9	脳神経内科・内科・リハビリテーション科	無
42	戸田眼科医院	戸田 義喜	富士宮市宮原128-1	眼科	無
43	戸塚内科クリニック	戸塚 盛計	富士宮市中央町11-11	内科	無
44	ないとう整形外科クリニック	内藤 健一	富士宮市西小泉町31-6	整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科	無
45	なかがわ眼科	中川 里佳	富士宮市大岩275-1	眼科	無
46	永松医院	永松 清明	富士宮市東町26-8	内科・精神科	無
47	南陽堂内科循環器科クリニック	佐野 壮一	富士宮市穂波町12-8	内科・循環器科	無
48	西原内科循環器科医院	西原 健二	富士宮市東町10-4	内科・循環器科	無
49	原医院	原 太平	富士宮市山宮959-5	肛門科・外科・胃腸科・内科	無
50	坂東レディースクリニック	坂東 尚	富士宮市杉田1016-7	産婦人科	無

NO	医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
51	平野整形外科	平野 忠	富士宮市ひばりが丘650	整形外科	無
52	ヒロクリニック	甘楽 通徳	富士宮市万野原新田3923-2	内科	無
53	富士宮中央クリニック	淵本 晃司	富士宮市宮原88-6	内科・外科・循環器科・消化器内科・リハビリテーション科	無
54	牧野医院	牧野 政博	富士宮市西小泉町50-11	耳鼻咽喉科	無
55	町田皮膚科クリニック	町田 秀樹	富士宮市小泉1975-24	皮膚科	無
56	松本整形外科医院	松本 安司	富士宮市西町8-8	整形外科	無
57	三浦医院	三浦 謙之	富士宮市淀川町29-11	胃腸科・外科・内科・小児科	無
58	みみ・はな・のど神田川クリニック	島尻 英樹	富士宮市神田川町12-6	耳鼻咽喉科	無
59	望月医院	望月 信幸	富士宮市元城町20-1	小児科・内科	無
60	森岡内科医院	森岡 明	富士宮市野中東町246	内科	無
61	安田医院	安田 善典	富士宮市小泉423-3	内科・小児科	無
62	山口医院	山口 安三	富士宮市黒田215-9	泌尿器科・内科・皮膚科・性感感染症内科・血液透析	無
63	吉見内科クリニック	小松 勝利	富士宮市万野原新田3162-3	内科	無
64	米永医院	米永 俊一郎	富士宮市北町7-5	内科・神経内科・膠原病内科・心療内科・和漢薬科	無
65	米山クリニック耳鼻咽喉科	米山 秀彦	富士宮市中原町145	耳鼻咽喉科	無
66	渡辺クリニック	渡辺 政信	富士宮市三園平488-2	内科・泌尿器科	無
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					
81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					



5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数	2,960人
上記以外の救急患者の数	4,322人
合計	7,282人 (3,105人)

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

救急室受診記録 H24.4月～H25.3月

月	受診者総数 (救急車含む)			救急車			入院			死亡			死後の処置			遺体検案			紹介状			二次救			患者搬送		
	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030	深夜 030 830	日勤 830 1700	準夜 1700 030
4月	84	328	187	53	106	78	33	139	87	0	8	6	0	7	6	0	3	2	14	106	65	14	106	65	2	1	0
5月	120	309	199	62	83	69	52	119	82	1	2	2	0	2	2	0	0	2	28	108	70	28	108	70	0	0	1
6月	105	306	167	59	91	73	47	138	80	3	3	2	2	3	2	2	1	0	22	106	59	22	106	59	0	1	0
7月	104	362	175	59	123	90	42	137	61	4	6	3	5	6	2	1	2	0	20	125	65	20	125	65	2	2	0
8月	114	351	200	58	124	93	46	149	82	6	6	1	6	6	1	0	2	0	21	140	82	21	140	82	0	1	0
9月	102	299	168	51	110	59	45	141	67	3	4	4	2	5	4	0	2	1	21	111	72	21	111	72	1	1	0
10月	86	318	185	43	104	78	40	140	91	4	4	4	4	3	2	0	0	0	20	126	63	20	126	63	1	2	2
11月	113	291	197	68	104	82	36	143	100	5	5	5	5	5	5	0	0	0	28	123	83	28	123	83	1	1	1
12月	98	337	207	56	117	97	41	139	85	7	13	7	5	6	5	0	3	27	130	84	27	130	84	0	3	2	
1月	112	351	220	65	132	112	41	161	94	3	6	7	3	5	7	0	2	1	23	138	81	23	138	81	3	9	5
2月	85	282	159	50	94	80	27	128	71	3	2	6	3	1	6	0	2	2	16	115	45	16	115	45	0	3	0
3月	87	294	180	38	112	87	27	116	78	0	3	3	1	3	3	0	0	1	21	112	72	21	112	72	1	1	0
合計	1,210	3,828	2,244	662	1,300	998	477	1,650	978	39	62	50	36	52	45	3	11	13	261	1,440	841	261	1,440	841	11	25	11
		7,282			2,960			3,105			151			133			27			2,542			2,542			47	
月平均	101	319	187	55	108	83	40	138	82	3	5	4	3	4	4	0	1	1	22	120	70	22	120	70	1	2	1
日平均	3	10	6	2	4	3	1	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	2	1	4	2	0	0	0

6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

別紙のとおり(6-1)

(2) 研修の実績

研修者数	2,691人 (内院外437人)
------	---------------------

※前年度の研修生の実数を記入すること

(3) 研修の体制

①研修プログラムの有無  有  無

②研修委員会設置の有無  有  無

③研修指導者

別紙のとおり(6-2)

(4) 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講義室	107.08 m <sup>2</sup>	(主な設備) パソコン、プロジェクター
南棟第1会議室	101.68 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、マイク設備一式
南棟第2会議室	101.68 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、マイク設備一式
図書室	99.51 m <sup>2</sup>	(主な設備) インターネットパソコン
2階病棟カンファレンスルーム	15.84 m <sup>2</sup>	(主な設備)
3階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	(主な設備)
3階B病棟カンファレンスルーム	10.44 m <sup>2</sup>	(主な設備)
4階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	(主な設備)
4階B病棟カンファレンスルーム	17.76 m <sup>2</sup>	(主な設備)
5階A病棟カンファレンスルーム	7.75 m <sup>2</sup>	(主な設備)
5階B病棟カンファレンスルーム	17.76 m <sup>2</sup>	(主な設備)

## 平成24年度に実施した研修会等（6－1）

### 市民健康講座

#### 第1回

開催日：平成24年5月25日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：富士宮市立病院 南棟4階会議室  
参加人数：院内26人・院外28人  
テーマ：たばこと肺がん  
講師：当院 外科科長 矢島 澄鎮

#### 第2回

開催日：平成24年7月27日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：富士宮市立病院 南棟4階会議室  
参加人数：院内26人・院外30人  
テーマ：婦人科のがん  
講師：当院 産婦人科科長 土井 貴之

#### 第3回

開催日：平成24年9月21日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：富士宮市立病院 南棟4階会議室  
参加人数：院内22人・院外67人  
テーマ：耳の病気について  
講師：当院 耳鼻咽喉科科長 足守 直樹

#### 第4回

開催日：平成24年11月16日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：富士宮市立病院 南棟4階会議室  
参加人数：院内31人・院外35人  
テーマ：緩和ケア～がんに伴う体と心の痛みへの対応～  
講師：当院 主任薬剤師 内田 直人、緩和ケア看護師 夏目 智子

#### 第5回

開催日：平成25年1月18日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：富士宮市立病院 南棟4階会議室  
参加人数：院内27人・院外27人  
テーマ：乳がん  
講師：当院 外科科長 鈴木 憲次

#### 第6回

開催日：平成25年3月15日(金)  
対象：市民・市内開業医・院内職員等  
開催場所：富士宮市立病院 南棟4階会議室  
参加人数：院内20人・院外81人  
テーマ：大腸がん  
講師：当院 外科科長 山下 公裕

### 富士宮ハートカンファレンス

#### 第21回富士宮ハートカンファレンス

開催日：平成24年6月22日(金)  
対象：市内開業医、薬剤師、院内職員等  
開催場所：パテオン  
参加人数：院内37人・院外26人  
テーマ：特別講演「変わり続ける糖尿病外来診療」

講師：順天堂大学大学院スポーツロジセンター センター長 河盛 隆造 先生

#### 第22回富士宮ハートカンファレンス

開催日：平成24年12月12日（水）

対象：市内開業医、院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内6人・院外7人

テーマ：症例呈示 治療が困難な高血圧症

講師：南陽堂循環器科クリニック 佐野 壮一 先生

テーマ：Arctic sunを用いた低体温療法により救命できた院外心肺停止の1例

講師：富士宮市立病院 佐藤 亮太 先生

テーマ：当院でのトルバプタンの使用経験

講師：富士宮市立病院 片山 順平 先生

#### 富士宮消化器病研究会

##### 第58回

開催日：平成24年4月11日（水）19時～

対象：市内開業医・院内職員等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内10人・院外20人

テーマ：上部消化管優位の adenomatous polyposis の1例

講師：当院 内科 鈴木崇弘

テーマ：回盲部およびS状結腸が嵌頓し、絞扼性イレウスをきたした巨大鼠径ヘルニアの1例

講師：当院 外科 甲賀淳史

テーマ：食道癌胃壁内転移の1例

講師：当院 内科 杉山智洋

テーマ：臍頭十二指腸切除術後に *Candida glabrata* による ARDS を発症した1例

講師：当院 外科 奥村拓也

##### 第59回

開催日：平成24年7月11日（水）19時～

対象：市内開業医・院内職員等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内9人・院外15人

テーマ：ネパールにおける医療キャンプでの診療経験

講師：当院 外科 高梨裕典

テーマ：自己免疫性膵炎の1例

講師：当院 内科 鏡 卓馬

テーマ：藤田保健衛生大学での腹腔鏡下胃切除術の経験

講師：当院 外科 磯垣 淳

##### 第60回（富士宮市医師会学術講演会と合同）

開催日：平成24年11月15日（水）19時～

対象：市内開業医・院内職員等

開催場所：富士宮市医師会館

参加人数：院内12人・院外35人

テーマ：学術講演『知って損しないPPIの上手な使い方』

講師：浜松医科大学 臨床研究管理センター 准教授 古田隆久 先生

##### 第61回

開催日：平成25年1月30日（水）19時～

対象：市内開業医・院内職員等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内8人・院外18人

テーマ：穿孔性虫垂炎に合併した直腸膀胱窩膿瘍に対し経皮経膀胱膿瘍穿刺を行った1例

講師：当院 外科 甲賀淳史

テーマ：大腸全摘術後の難治性回腸囊炎に抗TNF- $\alpha$ モノクローナル抗体による治療が奏功した

潰瘍性大腸炎の1例

講師：当院 内科 鏡 卓馬

テーマ：胃巨大GISTの1切除例

講師：当院 外科 水野智哉

総合診療カンファレンス

第73回

開催日：平成24年4月19日(木)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：22人

テーマ：疾患と対策「小児科のcommon disease」

講師：当院 小児科医師 太田達樹

第74回

開催日：平成24年4月25日(木)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：27人

テーマ：診療手技「ペインクリニック」

講師：富士宮ペインクリニック 院長 小林 光太郎 先生

第75回

開催日：平成24年5月10日(木)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：26人

テーマ：救急症例検討会

第76回

開催日：平成24年5月24日(木)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：37人

テーマ：疾患と対策「整形外科のcommon disease」

講師：当院 整形外科医長 大石 崇人

第77回

開催日：平成24年6月5日(火)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：38人

テーマ：疼痛緩和セミナー

講師：当院 産婦人科科長 土井 貴之

第78回

開催日：平成24年6月25日(月)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：35人

テーマ：CPC（臨床病理検討会）「心不全の加療中に症状なく急に血圧が低下し、その2日後に死亡した70代女性患者」

講師等：当院 診療部長 小宮山明、循環器科長 若原伸行、放射線科科長 村松克晃、  
循環器科医長 片山順平、研修医 水野大地

第79回

開催日：平成24年6月28日(木)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：22人

テ ー マ：地域医療「ネパール研修報告」

講 師：当院 外科専修医 高梨裕典

第 80 回

開 催 日：平成 24 年 7 月 20 日(金)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：27 人

テ ー マ：疾患と対策「薬物・アルコール中毒」

講 師：聖明病院 院長 近藤直樹 先生

第 81 回

開 催 日：平成 24 年 7 月 25 日(水)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：48 人

テ ー マ：地域医療「在宅医療と看護」

講 師：当院 地域医療連携室 社会福祉士 遠藤 美和、訪問看護師 小澤 広美

第 82 回

開 催 日：平成 24 年 8 月 7 日(火)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：13 人

テ ー マ：疼痛緩和セミナー

講 師：緩和ケアチーム

第 83 回

開 催 日：平成 24 年 8 月 23 日(木)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：25 人

テ ー マ：CPC（臨床病理検討会）

「糖尿病で通院中に急性間質性肺炎を発症し、ステロイド、免疫抑制剤による治療を行うも呼吸不全が進行し死亡した 60 代男性」

講 師 等：当院 診療部長 小宮山明、内科科長 榎間昌哲、放射線科科長 村松克晃

第 84 回

開 催 日：平成 24 年 9 月 10 日(月)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：29 人

テ ー マ：救急症例検討会

第 85 回

開 催 日：平成 24 年 9 月 24 日(月)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：21 人

テ ー マ：研修終了報告会

講 師 等：当院 研修医 田代傑、研修医 林壽樹、研修医 水野大地

第 86 回

開 催 日：平成 24 年 11 月 5 日(月)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：29 人

テ ー マ：CPC（臨床病理検討会）

「糖尿病で通院中に急性間質性肺炎を発症し、ステロイド、免疫抑制剤による治療を行うも呼吸不全が進行し死亡した 60 代男性」

講師等：当院 院長 米村克彦、診療部長 小宮山明、内科科長 榊間昌哲、放射線科科長 村松克晃

第87回

開催日：平成24年12月17日(月)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：27人

テーマ：CPC（臨床病理検討会）

「後腹膜膿瘍の集中治療中に急変した80歳代女性」

講師等：当院 診療部長 小宮山明、内科科長 榊間昌哲、放射線科科長 村松克晃、  
内科医師 川勝祐太郎

第88回

開催日：平成25年1月15日(火)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：43人

テーマ：救急症例検討会「心肺停止と外傷の病院前救護」

講師：当院 循環器科科長 若原伸行、富士宮市消防職員

第89回

開催日：平成25年3月14日(火)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：20人

テーマ：CPC（臨床病理検討会）

「維持透析中に原因不明の高カルシウム血症と好酸球増加を認め、経過観察中に肝硬変が進行した70歳男性」

講師等：当院 診療部長 小宮山明、内科科長 榊間昌哲、放射線科科長 村松克晃、  
内科医師 佐藤太一

**総合診療ミニレクチャー**

第70回

開催日：平成24年4月6日(金)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：10人

テーマ：診療手技「患者の介助・搬送法」

講師：当院 リハビリテーション科 理学療法士 幸坂真宏

第71回

開催日：平成24年4月18日(水)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：4人

テーマ：ジャーナルクラブ

第72回

開催日：平成24年5月25日(金)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：9人

テーマ：診療手技「利尿薬の使い方」

講師：当院 内科医師 三輪真史

第73回

開催日：平成24年5月30日(水)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：2人



テ ー マ：ジャーナルクラブ

第74回

開 催 日：平成24年6月1日(金)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：3人

テ ー マ：診療手技「外科の輸液計画法」

講 師：当院 外科専修医 高梨裕典

第75回

開 催 日：平成24年6月8日(金)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：11人

テ ー マ：診療手技「病態別献立」

講 師：当院 栄養科 管理栄養士 山田由貴

第76回

開 催 日：平成24年6月20日(水)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：4人

テ ー マ：ジャーナルクラブ

第77回

開 催 日：平成24年6月22日(金)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：13人

テ ー マ：薬剤レクチャー「医薬品の禁忌（総論）」

講 師：当院 薬剤部長 北村 修

第78回

開 催 日：平成24年7月18日(水)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：4人

テ ー マ：ジャーナルクラブ

第79回

開 催 日：平成24年7月20日(金)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：10人

テ ー マ：診療手技「聴診実習」

講 師：当院 循環器科医長 片山順平

第80回

開 催 日：平成24年8月24日(金)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：7人

テ ー マ：診療手技「整形外科の診察・治療手技実習」

講 師：当院 整形外科医長 森岡 聡

第81回

開 催 日：平成24年8月29日(水)

対 象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：4人

テーマ：ジャーナルクラブ

第82回

開催日：平成24年8月31日(金)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：6人

テーマ：診療手技「耳鼻科の診察・治療手技実習」

講師：当院 耳鼻咽喉科医師 鈴木高広

第83回

開催日：平成24年9月7日(金)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：9人

テーマ：診療手技「眼科の診察・治療手技実習」

講師：当院 眼科科長 望月美奈

第84回

開催日：平成24年9月19日(水)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：4人

テーマ：ジャーナルクラブ

第85回

開催日：平成24年9月21日(金)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：5人

テーマ：組織病理レクチャー「肝」

講師：当院 診療部長兼病理科科长 小宮山明

**医療安全シンポジウム**

開催日：平成24年7月5日(木)・6日(金)

対象：院内全職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：346人

「医療安全管理室報告・部会活動報告」

テーマ：「平成23年度 医療安全管理活動報告」

発表者：石川弥生

テーマ：「3部会(医薬品・医療機器・療養環境)活動報告」

発表者：松永五月(医薬品部会 看護師長)

高野 順(医用機器部会 臨床工学科科长)

磯野靖夫(療養環境部会 リハビリテーション科長)

佐野真澄(看護部 看護師長)

**医療安全講演会**

開催日：平成24年10月30日(火)

対象：院内全職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：269人

テーマ：「医療者間のコミュニケーション」

講師：榊原記念病院 副院長 中條武志 先生

**富士宮市立病院集談会**

第5回

開催日：平成24年11月30日(金)

対象：院内外医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：127人

- 1 テーマ：当院における摂食嚥下リハビリテーションの取り組み  
講師等：当院診療部 耳鼻咽喉科 足守直樹 診療技術部 リハビリテーション科 清紹代
- 2 テーマ：口腔ケアアセスメントシートを導入したオーラルマネジメントへの取り組み  
講師等：当院看護部 3A病棟 石川ひろみ
- 3 テーマ：より苦痛の少ない心臓カテーテル法パスとペースメーカー植え込み術パスの改善報告  
講師等：当院看護部 5A病棟 藤巻彩
- 4 テーマ：中期母親学級を参加型とするための取り組み  
講師等：当院看護部 3B病棟 市川千絵
- 5 テーマ：富士宮市立病院におけるインスリン適正使用についてのアンケートとその現状  
講師等：当院薬剤部 井尻真理子
- 6 テーマ：新生児聴覚スクリーニングの現状  
講師等：当院診療技術部 臨床検査科 荒川洋史
- 7 テーマ：乳房超音波検査におけるエラストグラフィの使用経験  
講師等：当院診療技術部 中央放射線科 玉田宏一
- 8 テーマ：自宅退院支援における退院前訪問指導の可能性  
講師等：当院診療技術部 リハビリテーション科 幸坂真宏

### 診療技術部集談会

#### 第21回

開催日：平成24年6月1日(金)

対象：院内外医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：50人

- 1 テーマ：小児弱視の訓練と経過  
講師等：当院診療技術部 リハビリテーション科 吉野 美奈子
- 2 テーマ：当院における透析液水質確保加算にともなう水質管理の現状  
講師等：当院診療技術部 臨床工学科 深澤 信宣
- 3 テーマ：一般撮影における線量計算システム (SESD-10) の検証  
講師等：当院診療技術部 中央放射線科 加藤 聡子
- 4 テーマ：全自動免疫染色装置 BOND-MAX の染色条件検討  
講師等：当院診療技術部 臨床検査科 伊東 孝洋
- 5 テーマ：自宅退院支援における退院前訪問指導の可能性  
講師等：当院診療技術部 リハビリテーション科 幸坂 真宏

### 医療機器研修会

開催日：平成23年5月27日(金)・平成23年5月30日(月)

対象：院内全職員

開催場所：富士宮市立病院 南棟4F

参加人数：257人

テーマ：輸液ポンプの取り扱いについて

### おくすり勉強会

開催日：平成24年4月20日(金)

対象：院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：30人

テーマ：高血圧

講師：当院薬剤師 河原崎茂

### 中央放射線科公開勉強会

#### 第8回

開催日：平成24年7月11日〔水〕

対象：市内診療放射線技師・医師・看護師等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内20人・院外0人

テーマ：腎障害におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン2010

第一三株式会社 佐々木 達

放射線科業務において知って欲しいお薬のこと

当院診療放射線技師 深澤 英史

### 第9回

開催日：平成24年8月30日〔木〕

対象：市内診療放射線技師・医師・看護師等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内21人・院外0人

テーマ：NSFとガドリニウム造影剤

テルモ株式会社 野口 仁

### 第10回

開催日：平成25年1月25日〔金〕

対象：院内外診療放射線技師・看護師等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内16人・院外0人

テーマ：コメディカルのための手術手技レクチャー〔股関節〕

当院看護師 西中 真樹

### 富士宮市立病院診療放射線技師勉強会

#### 第7回

開催日：平成24年5月10日〔木〕

対象：市内診療放射線技師・医師等

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内12人・院外0人

テーマ：二核種同時収集におけるクロストークの影響

当院診療放射線技師 小林 邦和

寺子屋シリーズ消化管研修会参加報告

当院診療放射線技師 前林 晴也

臨床実習指導教員グレードアップ講習会参加報告

当院診療放射線技師 鈴木 達人

#### 第8回

開催日：平成24年9月6日〔木〕

対象：市内診療放射線技師・医師等

開催場所：当院

参加人数：院内16人・院外1人

テーマ：第37回超音波検査学会参加報告

当院診療放射線技師 木内 浩

基礎技術講習（一般撮影）&緊急医療被ばく医療講座参加報告

当院診療放射線技師 石川 文彦

CMRS（腹部造影CTの現状と将来）参加報告

当院診療放射線技師 鈴木 達人

#### 第9回

開催日：平成24年11月28日〔水〕

対象：静岡県東部地区診療放射線技師

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内16人・院外18人

テーマ：第1回静岡県東部地区一般撮影画像勉強会

富士フィルムメディカル 堀口 真太郎

#### 第10回（副作用を含めた放射線療法・化学療法の推進に関する研修）

開催日：平成25年2月7日（木）

対象：院内外医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内28人・院外0人

テーマ：抗がん剤治療に対する副作用対策について

日本化薬株式会社 井上 淳二

放射線業務従事者教育訓練

当院診療放射線技師 深澤 英史

放射線の人体に与える影響と安全取り扱い

当院診療放射線技師 取扱主任者 酒井 洋和

## 摂食嚥下リハビリテーション勉強会

### 第4回

開催日：平成24年6月15日（金）

対象：当院医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：42名

テーマ：「摂食嚥下障害 症例検討会」

講師等：当院診療技術部 リハビリテーション科 清紹代  
当院診療技術部 リハビリテーション科 藤山啓太  
当院診療技術部 リハビリテーション科 仁藤祥子  
当院診療技術部 栄養科科长 鈴木初音  
当院薬剤部 河原崎茂  
当院看護部 北詰典子

### 第5回

開催日：平成24年9月28日（金）

対象：当院医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：50名

テーマ：「摂食嚥下について」

講師等：当院耳鼻咽喉科科長 足守直樹

### 第6回

開催日：平成24年2月8日（金）

対象：当院医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：20名

テーマ：「保湿と感染予防の口腔ケア」

講師等：ティーアンドケー株式会社 中尾公介

## 「嚥下障害の臨床 実践編 症例報告から基本を学ぶ」 勉強会

### 第1回

開催日：平成24年3月8日（金）

対象：当院医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：18名

テーマ：「他職種と連携・協働により常食経口摂取可能となった球麻痺の一例」

講師等：当院耳鼻咽喉科科長 足守直樹

### 第2回

開催日：平成24年3月22日（金）

対象：当院医療職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：17名

テーマ：「間欠的経管栄養（OE法）が奏効した急性期 Wallenberg 症候群の症例」

講師等：当院耳鼻咽喉科 鈴木高広

## 緩和ケア講演会

開催日：平成24年12月8日（土）

対象：市内開業医、院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内41人・院外8人

テーマ：「ストレスケアとサイモントン療法」

講師等：滋賀医科大学家庭医療学講座 田村祐樹准教授

## 緩和ケア研修会

開催日：平成25年2月16日（土）

対象：市内開業医、院内職員

開催場所：富士宮市立病院

参加人数：院内30人・院外21人

テーマ：「がん患者の精神症状とケア」

講師等：小田原市立病院 心身医療科部長 竹内 文一 先生

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
米村 克彦	医師	内科	院長兼 医療安全管理室長	33年	日本内科学会認定専門医 日本内科学会指導医 日本腎臓学会指導医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会指導医 日本透析医学会専門認定医 日本アフェレンス学会認定専門医
小宮山 明	医師	病理科	診療部長兼 病理科科長	29年	日本病理学会専門医 日本臨床細胞学会細胞診専門医 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会認定医
高橋 宏史	医師	脳神経外科	診療部長兼 脳神経外科科長	26年	日本脳神経外科学会専門医
川辺 昭浩	医師	外科	診療部長兼 外科科長	26年	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本がん治療認定医 日本消化器がん外科治療認定医
増田 光司	医師	眼科	眼科科長	25年	日本眼科学会専門医
鈴木 憲次	医師	外科	外科科長兼 医局長	24年	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 がん治療認定医
深澤 ちえみ	医師	小児科	小児科科長	24年	日本小児科学会専門医 日本小児循環器学会専門医
磯垣 淳	医師	外科	外科科長	24年	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本外科学会認定医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定(消化器・一般外科) 日本消化器病学会消化器病専門医 日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医
山下 公裕	医師	外科	外科科長	21年	日本外科学会専門医 がん治療認定医 マンモグラフィ読影認定医
奥村 拓也	医師	外科	外科科長	20年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医 日本消化器内視鏡学会認定医 日本消化器病学会認定医 外科周術期感染管理認定医 インフェクションコントロールドクター(ICD)
若原 伸行	医師	循環器科	循環器科科長	19年	日本内科学会認定専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
足守 直樹	医師	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科科長	19年	日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門医
海野 智之	医師	泌尿器科	泌尿器科科長	19年	日本泌尿器科学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会指導医 日本透析医学会専門医
勝呂 清尚	医師	循環器科	循環器科科長	19年	日本内科学会総合内科専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
土井 貴之	医師	産婦人科	産婦人科科長	17年	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
向後 秀俊	医師	放射線科	放射線科科長	16年	日本放射線学会専門医 放射線科専門医研修指導者
柳間 昌哲	医師	内科	内科科長	15年	日本内科学会総合内科専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会専門医

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
川口 由高	医師	循環器科	循環器科科長	15 年	日本内科学会認定専門医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会専門医
藤田 倫匡	医師	整形外科	整形外科科長	15 年	日本整形外科学会運動期リハビリテーション医認定医 日本脊椎脊髄病学会認定医
奥谷 敬文	医師	内科	内科科長	14 年	日本内科学会認定専門医
船橋 伸司	医師	整形外科	整形外科科長	12 年	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医
望月 美奈	医師	眼科	眼科科長	12 年	日本眼科学会専門医
村松 克晃	医師	放射線科	放射線科科長	12 年	日本放射線学会診断専門医 PET核医学認定医 日本核医学会専門医
石井 康博	医師	麻酔科	麻酔科科長	12 年	日本麻酔科学会認定医
本山 大輔	医師	泌尿器科	泌尿器科科長	11年	日本泌尿器科学会専門医
島田 信一郎	医師	皮膚科	皮膚科科長	11年	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
千村 学	医師	脳神経外科	脳神経外科科長	11年	日本脳神経外科学会専門医
水野 智哉	医師	外科	外科科長	11年	日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長
管理担当者氏名	診療情報管理室長 地域医療連携室長 病院管理課長 医事課長

	管理部署	分類方法
診療に関する諸記録 診療録、手術記録、麻酔記録、各種検査記録、検査成績書、医用画像、助産記録、看護記録、その他、診療の過程での患者の身体状況、症状等について作成、記録された書面、画像等	診療情報管理室	患者IDごとにカルテ室管理
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供実績	医事課
	地域の医療従事者の資質向上を図るための研修の実施	病院管理課
	閲覧実績	医事課
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長
閲覧担当者	診療情報管理室長 地域医療連携室長 病院管理課長 医事課長
閲覧の求めに応じる場所	医事課 応接室

前年度の総閲覧件数（診療録等）	38件
-----------------	-----

9 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
委員会における議論の概要	
別紙委員会議事録のとおり	

## 9 委員会の開催の実績

### 平成24年度第1回地域医療連携推進委員会議事録

開催日時 平成24年9月24日(月)

19時00分～19時50分

開催場所 南棟4階南会議室

#### 出席者

米村院長 高橋連携室長 事務部長 阿南副会長 蕪木副会長 西原理事  
富士保健所長 富士宮市保健福祉部長  
事務局長谷川連携室副室長 高橋主査

#### 事務局より

- ・配布資料の確認(7ページ構成のレジメ一部)
- ・設置要領第4条に基づき阿南先生に議長をお願いします。
- ・峡南保健福祉事務次長樋口委員は会議のため欠席との連絡を受けています。

#### 地域医療支援病院米村院長より挨拶

本日はありがとうございます。この委員会は今年度、年2回開催するうちの1回目となります。富士宮市内の診療所と市立病院の連携は今までも医師会主導でやってこられた地域医療連携運営委員会と平行してやっていき、お互いが意見を出し合い、地域医療の活性化となればよいと思います。

#### 阿南委員長より開会

米村院長からも話があったとおり、医師会で平成12年の事業開始から12年たちますが、まだまだ1つ1つ見ていくとアプローチのところで多少感じる場合があります。そのあたりの話し合いを活発にし、患者さんにとってスムーズな病院と診療所とが連携を深めていければと思います。

#### (1)平成24年度実績報告(事務局高橋主査より説明)

##### 資料に基づき説明(資料1ページ)

1、2ページは平成23年度実績と平成24年度の8月までの実績となります。市立病院は平成22年度の実績に基づき平成23年9月末に地域医療支援病院の承認を受け、今年度2年目を迎える状況であります。平成23年度実績では平成22年度に比べ紹介率は伸びています。昨年3月に外科、整形外科が完全紹介制となったことによるものだと推測できます。今年度実績につきましても、8月までの数値となりますが例年通りの推移であります。

3ページは平成20年度以降の初診患者の推移をグラフに表したものです。各年度で紹介制、予約制になったため初診患者の件数は減少していますが、病院、診療所からの紹介患者数は増加しています。

4ページは紹介率、逆紹介率の年度別推移を表しており、今後も市立病院地域医療連携室が、病院、診療所との連携を担う部署として継続してスムーズな病診連携ができるよう努めていきたいと思っています。

5ページ資料は相談件数の推移です。連携室業務の1つであり、急性期病院からの退院調整であるリハビリ病院、療養病院への病病連携の転院相談、また、退院支援を行ううえで在宅退院への相談件数も年々増加している状況です。

6ページ資料は共同利用の実績を掲載しております。こちらは平成23年度実績のみとなっておりますが、年々増加傾向であります。最後に平成23年度救急室受診実績を月別で掲載しておりますが、年間7,687件の救急患者数、うち3,038件が救急車で来院した救急患

者数となっています。また、その約2%が峡南地区から搬送されております。

以上報告を終わります。

阿南委員長

事務局から説明がありましたが、これについて何か意見がありますか。

米村委員

4ページ資料の逆紹介率の推移で平成21年度と平成22年度数値の推移理由はどうか。

事務局高橋

平成22年度から支援病院の算定方法にそった数値を掲載しているため、グラフとして比較できる数値ではないですが、参考のため掲載しました。

燕木委員

救急室受診実績の表で患者搬送という項目はなんですか。

高橋委員

当院から3次救へ搬送した患者実績となります。

阿南委員長

共同利用の実績でCTの件数が367件という実績ですが、最近では依頼すると1週間以内に予約が取れることができ、早期に対応してもらえていると感じる。

他にありますか。なければ次に病診連携の現状について事務局よりお願いします。

## (2)市立病院の病診連携の現状について

高橋事務局

特に目新しい情報提供できることはありませんが、前回の話し合いの中で、CTのCDR化についてお願いしましたが、診療所からは困るからフィルムで欲しいなどということも聞かれずに運用できています。

阿南委員長

ほかに問題となることは聞いていますか。

高橋事務局

病診担当事務の方からも、実務の中で困ったことはない聞いています。

阿南委員長

医師会の方からはどうですか。

西原委員

最近では、医師会の方からも問題となった話は聞いていません。

燕木委員

電話対応についても4月以降非常によくなりました。

米村委員

9月末で呼吸器外科の医師が退職となり不在となります。非常勤で金曜日に来院しますが、緊急については気胸くらいの症例を受けることになってしまうか。肺がんについてはがんセンターまたは沼津市立病院へお願いすることになるかと思えます。

また、小児科でも1名の医師が産休・育休により来年3月末で退職となり、1名の医師は4月から開業することが決まっているため4月からは小児科で2名体制になります。既に小児科では紹介・予約制となっておりますが、子供ということもあり、ほとんどの患者さんが突発で受診されることも多い状況です。皮膚科についても10月から紹介制となりますが、現状1名体制であるため、初診の患者さんが午前9時に来院されても、再診患者さんを診てから初診患者さんを診るため、実際の診療時間はお昼過ぎか14時近くになっているのが現状です。

西原委員

呼吸器の救急があった場合はどうしたらよいか。入院の必要な人は受けてもらえるか。

米村委員

疾患によって内科または外科と決めています、入院の必要な場合は受けることは受けませんが、場合によっては当院から他の総合病院へお願いすることもあります。

阿南委員長

他にありますか。次に意見交換をお願いします。

西原委員

介護保険の主治医意見書を退院前に記載することは難しいですか。退院してくるとその足で私の診療所へ来られ、市役所に介護保険の申請に行き、主治医の意見書が依頼されても、あまり状態把握ができていないことが多い場合があります。

高橋委員

市立病院入院中、退院直後で主治医の意見書を書くことは難しいです。リハビリ病院へ行く患者さんはリハビリ病院でとなります。

米村委員

市立病院内科でも同じ状況があったため、問診票を作成し、家族に記載してもらったものを参考にして主治医の意見書を作成している。

高橋委員

入院中に主治医の意見書を記載することは困難であるため入院中に記載しますと断言できない。

阿南委員長

退院前指導として病院医師が在宅退院する患者さんに対しての指導と、意見書の作成を行ってもらい、その患者さんの介護保険更新について診療所で担うということがやりやすいと思う。大変なのはわかるができればお願いしたい。

高橋委員

私も介護認定審査委員をやっていてその重要性はわかりませんが、すべてにおいて病院で記載することを了解はできない。

蕪木委員

富士市の医師会からの問診票は非常に役に立ち、意見書を書く作業量も軽減した。

市立病院は各診療科があって、頭、体、お腹とそれぞれを診ていると思うが、それぞれを診ている医師よりも、総合的に診ている診療所が記載することがベターだと私は思う。

米村委員

私にしか受診してなく高齢、老衰といった場合、家族は市立病院でお願いすることしかできないため作成することも多くある。

高橋委員

家族が主治医とってきた場合はそこで書くことしかないのではないかと。

西原委員

このことについては判断に迷う部分もあるが、退院の際はもう少し情報が欲しいです。

阿南委員長

例えば市立病院に月曜日受診して、翌週の月曜日に再診の予約が入ったが、金曜に調子が悪くなり予約が月曜だからといって金曜日には診てもらえないか。

米村委員

受診予約がある患者さんについては予約変更ということで電話のみで金曜日に予約を変更して受診することは可能です。ただし、科によっては予約変更ができない場合もありますがほとんどは予約変更で対応できることの方が多いと思います。

長谷川事務局

電話での受診相談があった際は、外来へ電話を回させてもらい判断してもらおうように対応しています。

米村委員

院内紹介についても院内の医師同士で可能になるため、診療所で紹介状をもらってきてということはない。

阿南委員長

他に何かありますか。

以上をもちまして地域医療連携推進委員会を閉会します。

## 9 委員会の開催の実績

### 平成24年度第2回地域医療連携推進委員会議事録

開催日時 平成25年3月18日(月)

19時00分～19時55分

開催場所 南棟4階南会議室

出席者

院長 高橋連携室長 事務部長  
阿南副会長 蕪木副会長 西原理事  
事務局長谷川連携室副室長 高橋主査

事務局より

- ・配布資料の確認(4ページ構成のレジメ一部)
- ・設置要領第4条に基づき阿南先生に議長をお願いします。
- ・富士保健所長後藤委員、峡南保健福祉事務次長樋口委員、富士宮市保健福祉部長佐野委員は会議のため欠席との連絡を受けています。

地域医療支援病院米村院長より挨拶

本日は医師会の先生と当院の委員だけとなり、公的な保健所長等につきましては年度末ということもあり、会議のため欠席となっておりますが、本日開催させていただきます。よろしくをお願いします。

阿南委員長より開会

病診連携、救急担当理事をやっておりますが、いろいろな問題も出てくると思いますが、日常的に感じていることについて意見を上げていただきたいと思います。よろしくをお願いします。次第に基づき事務局からお願いします。

(1)平成24年度実績報告(事務局高橋主査より説明)

資料に基づき説明(資料1ページ)

1ページは平成24年度2月末までの実績となります。平成24年10月から皮膚科が紹介制となり、平成25年1月から小児科が紹介制となりました。年度別に見ましても初診患者の数が減少していることから、紹介率が上がっているものだと推測できます。引き続き病診連携についてご理解ご協力をお願いします。

阿南委員長

事務局から説明がありましたが、これについて何か意見がありますか。

阿南委員長

10月から皮膚科、1月から小児科がそれぞれ紹介制となったことで12月と1月が紹介率70%台になったということか。

事務局

初診患者の推移を見ていただけるとわかりますが、初診患者が減少している状況です。今年度紹介制になった科があることにより紹介率も上がっている現状です。

阿南委員長

各科紹介制になれば当然紹介率は上がりますが、紹介患者さん以外の患者さんも来院されますか。

米村委員

紹介状のない患者さんも受けています。内科は予約制ですが、紹介状のない患者さんも予約により来院し受診しています。

事務局

紹介状のない初診患者さんは、当院では、特別初診料が2,100円の負担となります。診療所からの紹介状を持って受診することで負担軽減できます。

阿南委員長

特別初診料は県下で統一されていますか。

米村委員

病院によって差があります。高いところでは5,000円の病院もあると聞いています。

阿南委員長

次に病診連携の現状について事務局よりお願いします。

### (2)市立病院の病診連携の現状について

2ページは平成20年度からの紹介率、逆紹介率の推移です。平成22年度の実績に基づき平成23年9月末に地域医療支援病院の承認を受けました。平成24年度も2月末現在で紹介率67.5%逆紹介率39.6%となっています。3ページは年度別、月別の初診患者の推移となっています。平成20年は19,291人の初診患者が来院していましたが、各科外来にて紹介制、予約制とする必要があり現在に至ります。4ページは紹介患者総件数(再診含む)となっており、平成21年度に比べ紹介患者が増加しています。地域別にみても圧倒的に市内の患者さんが多くなりますが、1割が富士市、1割が峡南地区等になっています。

阿南委員長

事務局から説明がありました。何か意見等がありますか。

初診患者数が平成20年の1万9千人から、平成24年1万2千人と減少し労働条件は緩和されましたか。

米村委員

外来診療に際しては緩和されております。多くの時間を入院患者さんに向けることも可能となりました。ただし、皮膚科は1名体制であり、現状では厳しい状況です。

西原委員

現在外来患者数は1日何人くらいですか。

米村委員

約600人から700人来院します。

阿南委員長

病診連携の現状についてはよろしいか。

次に前回の内容についてと意見交換をお願いします。

### (3)意見交換

西原委員

前回の話し合いで、直接救急隊から市立病院へトリアージされた患者さんが、診療所へ搬送となったことがあると話したが、現在は市立病院へ直接搬送依頼の場合、市立病院で受けていただいていると報告を聞いています。

各診療所へ市立病院への意見等アンケートをとったが、問題となった内容はないです。

阿南委員長

救急センター運営委員長をやっている立場から先日あった事例をお話させてもらおうと、救急センターの内科医師がこの患者さんは市立病院で診てもらいたいと連絡したところ、症状等をふまえ市立病院救急担当医がそのくらいなら2次救でなくても翌日に来院してというやり取りで1時間くらい経過してしまったことがあったと。

救急センターの現場では市内診療所の医師以外の先生も着ていただいているため、できる



限りひとつ返事で受けていただくことをお願いしたい。

米村委員

その事例については把握しています。

阿南委員長

患者さんが救急といった場合が救急のため、少々の熱であっても、救急センターの医師が市立病院へとお願いする場合は診ていただきたい。

高橋委員

救急センターでは検査等できないため、市立病院で診ることが当然であると思います。市内診療所の先生からの連絡で来院された患者さんは受け入れがスムーズであります。そうでない場合はコミュニケーションがうまく行かない場合もあることからもう少し様子をみてもらう話となることもあるのではないかと。

阿南委員長

1つ1つ問題として上がってくることもありますが、なかなか難しいのが現状ですかね。

高橋委員

普段から市内の診療所の先生との話の中で救急となってくる場合と同じように接点の少ないセンターの先生からも受けていけるように考えていきたい。

阿南委員長

救急センターの運営については引き続きご理解ご協力をお願いしたい。

他にありますか。

西原委員

院内紹介の際は、内科で入院していて腰痛があるからとの訴えで入院中に整形外科に受診することは可能か。

米村委員

現実的には可能であるが、腰痛の程度にもよるものではないか。

西原委員

眼科の手術のための入院で腰痛があるからということで整形外科に受診することはどうか。

米村委員

眼科の場合は1泊2日のOPE入院という場合も多く、その入院中に整形外科への院内紹介とはならない場合もある。退院間近になると他科に院内紹介することは行っているが、すべてを院内紹介できることではないと思う。

米村委員

市立病院からの現状報告ですが、現在整形外科の医師が5名いますが、平成25年4月から1名減となり4名体制になります。平成26年4からは現時点で0名となります。そのため、峡南地区整形外科の必要な救急患者さんは身延山病院へ整形受診を依頼してあります。なんとか声かけをして0名としないように努力します。

米村委員

富士市救急センターでは、インフルエンザでのタミフルを1日分の処方でも運用しており何とかならないものか。

蕪木委員

富士宮市救急センターでは5日分処方されているが、富士市医師会にもお願いしたことはあるが、検討された結果1日分ということでした。

米村委員

熱があるのに1日分しか処方されないため患者さんが再度受診しなくてはならないことが心配。

阿南委員長

脳神経外科で予約が取れることが遅いことがあったがどうなっているか。月曜日に予約を取りたくて連絡するも、金曜日にならないと取れないと言われたことがあった。

高橋委員

病診の事務の方でコミュニケーションがうまく行かないことがありましたら直接私の方に言ってください。

阿南委員長

事前に紹介状を送って欲しいということもあることはどうか。

蕪木委員

県立総合病院でも紹介状と申し込みを同一でないと受けてもらえないことと同じことだと思います。

米村委員

同時であった方が事前の検査予約等も可能になりその方が患者さんのためということもある。紹介状の内容が読めないものもまれにあり、できたらパソコン入力でお願いしたい。手書きでもよいのですができることなら丁寧な字でお願いします。

高橋委員

市立病院の病診連携事務が今年度末で退職となり、現在引継ぎを行っています。4月当初迷惑をかけることがあるかもしれませんが、何かありましたら私または事務の担当に言ってください。

長谷川事務局

現在は派遣で事務をお願いしていますが、4月からは委託となる予定です。

阿南委員長

その他何か連絡事項等がありますか。

西原委員

2年後は整形外科がなくなってしまうのか。

米村委員

整形外科のことについて現在は何ともいえない状況です。

阿南委員長

・以上をもちまして地域医療連携推進委員会を閉会します。

10 患者相談の実績

患者相談を行う場所	地域医療連携室 医療相談室 ・ 病棟
主として患者相談を行ったもの	遠藤 美和 遠藤 英里 高橋 弘典
患者相談件数	1, 402件 (実件数)
患者相談の概要	
経済的問題の解決・調整援助	75件
心理的・情緒的援助	2件
受診・受療援助	214件
高齢者退院援助	4, 385件
生活環境上の援助	30件
社会資源の紹介・斡旋	264件
その他	43件
合計	5, 013件

# 相談室月報

(平成24年度実績)

## <A. 個別援助>

### 1. 診療科別

外来	診療科別											計	
	内	小	外	整	脳	皮	泌	産	眼	耳	精		放
新	93	7	8	18	7	20	3	3	15	10	1	0	188
再	53	2	11	8	3	16	0	1	3	4	0	2	103
計	146	9	19	26	10	36	3	4	19	10	3	0	291

入院	診療科別											計	
	内	小	外	整	脳	皮	泌	産	眼	耳	精		放
新	527	73	21	65	299	181	6	11	15	1	15	0	1,214
再	1,391	226	5	190	932	656	10	19	66	0	13	0	3,508
計	1,918	299	26	255	1,231	837	16	30	81	1	28	0	4,722

## 2. 援助の内容

相談種類	a. 情報の収集と提供		b. 相談面接	c. 関係調整	d. 制度利用	e. その他	計
	新規	再来					
a. 経済的問題の解決・調整援助	46	29	9	41	17	7	75
b. 心理的・情緒的援助	0	2	0	1	0	0	2
c. 受診・受療援助	96	118	214	71	116	0	214
d. 高齢者退院援助	1,005	3,380	4,385	1,459	2,701	15	4,385
e. 生活環境上の援助	13	17	30	3	14	0	30
f. 社会資源の紹介・斡旋	220	44	264	6	43	33	264
g. その他	22	21	43	2	5	14	43
計	1,402	3,611	5,013	1,634	2,894	203	5,013

## 3. 援助の方法

援助の方法	a	b	c	d	e	計
	本人	家族	病院職員	関係機関	その他	
1. 面接	235	1,581	2,227	1,054	3	5,100
2. 電話	136	1,829	4,943	3,394	2	10,304
3. 文書	7	286	717	467	1	1,478
4. 訪問	1	1	2	1	0	5
計	379	3,697	7,889	4,916	6	16,987

## 4. 紹介経路

紹介経路	ケース数
1. 本人から	27
2. 家族から	172
3. 医師から	1,656
4. 看護師から	2,027
5. 病院職員から	63
6. 関係機関から	1,056
7. 他の医療機関から	11
8. 知人や他の患者から	1
9. ソーシャルワーカーの発見	0
計	5,013

## <B. 個別援助以外の業務>

業務	細目	件数・回数	
			院内業務
院内業務	1. 常例的業務	特定疾患(7)小児慢性(4)身体障害(45) がん患者新規(135)再来(785) 養育医療(15)自立支援(1)結核公費(16) その他制度等(83)	1,155
	2. 院内会議への参加	2Fカンファ(20)3Aカンファ(42)4Aカンファ(39)4Bカンファ(47) 5Aカンファ(29)5Bカンファ(31)嚥下カンファ(4) 褥瘡対策実践委員会(5)褥そう回診(4)地域医療連携委員会(2)緩和ケア委員会(3)CT委員会(4)	230
地域活動	3. 関係機関等との会議	市立敦賀病院視察(1)脳卒中地域連携バス会議(3) 大腸骨頸部骨折地域連携バス会議(3) 地域医療連携推進委員会(2)病診連携の会(1) 地域医療連携運営委員会(1)	11
	4. その他の地域活動		0
研究教育	5. 学会・研究会等への参加		0
	6. 講義・実習関係など		0